## 2023年度 シラバス(授業内容)

昼間部2年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

#### 1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。 当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしする こと、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカ リキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実 践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

#### 2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

- (1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
- (2)専門科目:各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



## 2023 年度 昼間部 2 年 鉄道科鉄道・交通サービスコース

進級 • 卒業基準単位

		1	年	2	年	卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必	共通必修	7	8	6	6	27
修	専門必修	18	20	21	19	78
	合 計	25	28	27	25	105

各期全単位を取得すること。

#### 履修科目 • 単位一覧

#### 実務経験のある教員による科目

	1年前期			1年後期			2年前期			2年後期							
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
		ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	卒業研究 I	講	2	30	卒業研究 Ⅱ	講	2	30
		キャリアデザイン [	演	2	30	キャリアデザイン Ⅱ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	講	1	15				
		ビジネスコミュニケーション [	講∙演	1	15					ビジネスコミュニケーション Ⅱ	講	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講	1	15
	共	就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
	通	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English <b>Ⅲ</b>	演	1	15	Let's Speak English <b>IV</b>	演	1	15
	通科目	パソコン	演	1	15									国際交流	演	1	15
	П																
		小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
		旅行業法	講	3	45	Station English I	演	1	15	Station English II	演	1	15	Station Enlgish III	演	1	15
		旅行業約款	講	3	45	鉄道業務実務I	演	3	45	鉄道業務実務Ⅱ	演	4	60	鉄道業務実務Ⅲ	演	4	60
		観光業界ガイドI	講	1	20	観光業界ガイドⅡ	講	2	35	鉄道イベントプロモーション I	演	2	30	鉄道イベントプロモーション Ⅱ	演	2	30
		国内管理者対策 [	講	2	30	国内管理者対策Ⅱ	講	4	60	ステーションエクササイズ【	講	2	30	ステーションエクササイズ 🏾	講	2	30
必		鉄道バリアフリー	演	1	15	就職対策I	講	3	45	就職対策Ⅱ	講	1	30	鉄道接客演習	演	1	30
修科		時刻表実務I	講	1	30	時刻表実務Ⅱ	講	1	30	時刻表実務Ⅲ	講	1	30	旅と鉄道	講	1	15
目		各種運送約款•料金	講	1	15	国内観光資源I	講	2	30	国内観光資源 Ⅱ	講	2	30	国内観光資源Ⅲ	講	2	30
		鉄道運賃·料金	講	3	45	サービス接遇 [	演	1	15	サービス接遇 II	演	1	15	社会人準備講座	演	1	30
		国内旅行地理 I	講	1	30	業界受験対策	講	1	15	SPT I	演	2	30	SPTI	演	2	30
		国内旅行地理Ⅱ	講	1	30	パソコンスキル I	演	1	30	パソコンスキルⅡ	演	1	30				
	門科	国内旅行地理Ⅲ	講	1	30	硬筆•書写検定対策	講	1	15	接客手話 [	演	1	15	接客手話 🏻	演	1	15
	目									中国語 I	講	2	30	中国語Ⅱ	講	2	30
										鉄道業界研究	講	1	15				
	Щ	小計		18	335	小計		20	335	小計 21 360		360	小計		19	315	
		1年前期 計		25	440	1年後期 計		28	455	2年前期 計		27	450	2年後期 計		25	405
Ī	H			1年	計			53	895			2年	計			52	855
2年間 合計												105	1750				

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
		就職ガイダンス	オリエンテーション	中村学園祭
	スポーツ大会	中村学園祭		
行		就職交流プラザ		
事		カミングホームプラザ		

# 共通科目

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目				
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義				
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間				
	各ゼミ講師			•					
担当	実務経験:有・無								
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。 観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。 なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。								
到達目標	①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。								
検定資格	なし・必修・任意 名称:								
教科書 教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担	当者より配布)							
授業計画	【進め方】 ・卒業研究とは ・テーマの決め方 ・レポート作成における調査研究】 ・調査研究】 ・調査計画の作成 ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わせた個別 ・実施内容の確認 【レポートのまとめ】 ・レポート構成(序論、章、まとめ) ・レポート内容(目的、方法、結果、・文献資料を参考し作成する 【発表】 ・パワーポイントの作成 ・サマリーの作成 ・台本の作成 ・プレゼンテーション練習と本番で	· 考察)							
成績評価 方法	<ul><li>・平常点は授業取組姿勢、研究意</li><li>・以下の提出物は全て提出するこ 【提出物】前期:序論 後期:レポ</li></ul>	欲等を考慮する と。							
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優B: 出席率 80%以上、平常点 良C: 出席率 60%以上、平常点 可D: 出席率 60%未満、平常点 不	Į							

学生への	_	,	1.	• •
マエへん	77	***	+7.	_~`
~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	"	<i></i>	Ŀ	_

科目名	キャリアデザインⅢ			科目区分	共通科目				
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義				
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間				
	就職担当								
担当	実務経験: 有・無								
授業概要	1 年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。 就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ 個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入 社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。 後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと 出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。								
到達目標	1、内定及び進路決定を得ること。 2、社会人としての最低知識を有し 3、自身の就職活動をまとめ、後輩								
検定資格	なし・ 必修 ・ 任意 名称:								
教科書 教材	CAREER ADVICE TEXT(インテリシ	ジェンス)							
授業計画	【就職活動実践】 就活サイトを利用した就活、企業研 自己 PR・志望動機作成、履歴書・E 小論文演習、SPI 対策と模擬試験が 【内定後】 お礼状作成、内定報告書類作成、就 【ビジネスコミュニケーション】 ビジネスメール作成、受付と接遇対 ビジネスセールストーク術、時事間	S 作成、面接派 寅習、企業講演 就活資料の整理 対応、名刺交換	複習、GP ワーク演習、 里 、ビジネスルールの理解	•					
成績評価方法	期末試験の得点ならびに出席率か 授業態度、提出物などが評価基準		す。平常点は就職活動(近	進路活動)の取り組	む姿勢、				
成績評価 基準	A:評価試験 85 点以上 かつ 出原 B:評価試験 65 点以上 かつ 出席 C:評価試験 40 点以上 かつ 出席 D:評価試験 40 点未満、出席率 60	席率 80%以上、 <b></b> 客率 60%以上、	平常点良 平常点可						

#### 学生へのメッセージ

	Γ				1	T .				
科目名	ビジネスコミュニケーショ	₃ンⅡ·Ⅲ			科目区分	共通科目				
対象	昼間部全学科全コース			T	授業形式	講義				
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間				
	井部·須田·橋本									
担当	実務経験 : 有・無									
授業概要	目的:観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要:1 年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。									
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。									
検定資格	なし・必修・任意	名称:	秘書技能検定	・ビジネス能力検定ジ	ョブパス					
教科 <del>書</del> 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社 (1年次購入済み)									
授業計画	【接遇】 ・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換 ・電話応対 ・上座、下座  【一般常識】 ・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き) ・ビジネスメール ・ビジネス月語  【知識】 ・年金、税、保険 ・組織(役職)と部門 ・慶弔 ・その他社会人として必要な知識									
成績評価 方法	評価試験には期末試験の	の他、演習語		 トを含みます。	_					
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可									

*** '	_	,		• •
学生へ	n	***	<del>1</del> フー	_` <i>'</i>
<b>一</b> 上 `	v	ノ・ノ	Ŀ	_

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ					科目区分	共通科目				
対象	昼間部全学科全コース					授業形式	演習				
実施期	2年 前期・後期	単	鱼位数	前期 : 1 i   後期 : 1 i		時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間				
	住友 大我										
担当	実務経験 : 有・無 トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に 15 年以上の実務経験があります。										
授業概要	心身ともに健康な状態で、社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心とした脳の働き(脳力)を 高める方法を学びます。										
到達目標	緊張からリラックス集中への反射を形成して、いつでも能力を発揮できるようになる。また、ストレスに対処する、 ストレスを成長につなげる、モチベーションを高める、発想力を高めるなどの内容を、脳の働きをもとに理解する。										
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称: メンタ	ルウェル	ネストレーニ	ング基礎課程						
教科書 教材	授業用教材セット										
授業計画	・メンタルトレーニング 思い方の練習(期待感と満足感を高める) 段階的リラクセーション法(緊張からリラックスへの反射形成) 自律訓練法(リラックスした集中への反射形成)      ・ビジョントレーニング 情報処理能力の向上(脳活ドリル、他) 視覚思考力、論理思考力の向上      ・脳力を発揮するための生活習慣 睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力との関連など) 運動、食事に関連する内容など      ・その他 自己分析(エゴグラム) メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他) 能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他)										
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(打 詳細は、各期の初回授業		[など)の	組み合わせて	で評価します。						
成績評価 基準	【試験】A:80 点/%以上、B:70 点/%以上、C:50 点/%以上、D:50 点/%未満 【出席率】A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:60%未満 【平常点】A:優、B:良、C:可、D:不可										

#### 学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施する予定です。 合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。 なお、受検料は発生しません。

科目名	Let's Speak English Ⅲ • Ⅳ			科目区分	共通科目				
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習				
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間				
	語学担当講師		1 2 22	,					
担当	実務経験: 有・無								
授業概要	「英語で外国人と会話が出来たら」ちょっとしたスキルとちょっとした勇気で、それは誰にでも実現可能なことです。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。								
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。								
検定資格	なし・必修・任意 名称:								
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)(1 年次購入済み)								
授業計画	[My Hometown] Asking about & describing places, asking for & giving suggestions, asking for & giving directions.  [Shopping] Prices & features, bargaining, frequency  [Food] Quantities, needs, eating habits, describing food  [Past & Future] Talking & asking about past events, introducing & reacting to news, future plans								
成績評価 方法	下記評価基準に基づく								
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出B:評価試験(理解度)60%以上、出C:評価試験(理解度)50%以上、出D:評価試験(理解度)50%未満、出	は席率 80%以_ は席率 60%以_	L、平常点良 L、平常点可						

#### 学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

					1					
科目名	国際交流			科目区分	共通科目					
対象	昼間部全学科全コース		1	授業形式	演習					
実施期	2年後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数	後期 : 15 時間					
	各担当講師									
担当	実務経験:有・無									
授業概要	コロナ禍により一時的に滞ってい 籍の方たちと接し、共に暮らし、 海外へ発信する取り組みをします。 らうことを想定しています。	共に働くこと	になるでしょう。この種	料目は、日本の「	文化」や「習慣」を					
	①外国人旅行者、移住者、働く仲間として交流のできる人材となる。									
조마추 다 뉴프	②海外の方に伝えたい「日本事情」	」をパワーホ	パイントや動画で表現する	る。社会に出た際	に表現の組み立て、					
到達目標	立案を行える事を目標とする。									
	③日本の「文化」「習慣」を自ら調	査・発信し、	接客に生かせる姿勢を	·身につける。						
検定資格	なし・必修・任意 名称:			-						
教科書 教材	なし(適宜必要な資料、プリント等を	配布)								
	【日本の観光地調査】									
	個人ワーク									
	インバウンドに向けた観光誘致場	所を調べて発	表する。							
	【日本文化の動画作成】									
	グループワーク									
	チームに分かれてテーマを選び、	徹底的に調査	し(実地調査含む)、ま	とめる。						
授業計画										
	【発表・評価】									
	授業内での発表に加え、優秀作品	  + CNC   ⊢1 − <del>t</del> E	獣する							
	IX木川(V)元以に加え、 変万  Fm	& UNU ⊥  <b>-</b> ]1€	J年A ブ つ。							
+4===/==	•授業取組姿勢									
成績評価 方法	• 発表内容									
刀法	・国際交流への意欲									
	A: 出席率 90%以上、平常点 優									
成績評価	B: 出席率 80%以上、平常点 良									
基準	C: 出席率 60%以上、平常点 可									
	D: 出席率 60%未満、平常点 不可	Г								

学生へのメッセーン			

# 鉄道・交通サービスコース 専門科目

科目名 対象	Station English II • III			ᅵᅥᅥᆔᅲᄼ			
が会				科目区分	専門科目		
刈水	鉄道科鉄道・交通サービスコ	ース		授業形式	演習		
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間		
	Robert						
担当	実務経験:有・無						
授業概要	鉄道業界で働く際に遭遇する 海外からのお客様に日本の 応用して使えるよう、会話、!	文化や東京近郊の観	見光地を案内する英語を習	習得します。シンプ			
到達目標	テキスト Station English II とIIIの Conversation を暗記し、それぞれの窓口担当スタッフのパートを、スムーズに会話することが出来る。						
検定資格	なし・必修・任意 名	5称:					
教科書 教材	オリジナルテキスト						
授業計画	・挨拶 / 特急券の販売(出・特急券の販売(出・特急券の販売(空席状況の・人数の確認・指定席と自由席・金額の提示 / 支払い方・行先の変更・途中下車・切符の紛失 【復習/会話テスト】・復習・1 人ずつ会話テストを実施	法の確認	<ul><li>・人気の理由</li><li>・観光地への</li><li>・富士山につい</li></ul>	行き方 いて Oいて(秋葉原) スト】			
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施	心、出席率・授業態	きと総合して評価します。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席 B:評価試験 60 点以上、出席 C:評価試験 50 点以上、出席 D:評価試験 50 点未満、出席	野率 80%以上、平常 野率 60%以上、平常	 点良 点可				

学生へのメッセージ		

科目名	鉄道業務実務Ⅱ・Ⅲ					科日	区分	専門科目	
対象	鉄道科鉄道・交通サービ	ンスコース				授業		演習	
実施期	2年 前期・後期		单位数	前期:		-	黝	前期 : 60 時間 後期 : 60 時間	
	響丈								
担当	実務経験 : 有・無 鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。								
授業概要	安心・安全・正確が当たり前の日本の鉄道ですが、それは鉄道掛員の地道な業務で成り立っています。 駅掛員、車掌の業務、運転士の業務の肝とは何なのか、授業で知識を習得していただきます。 また、学校内の施設を活用して、アナウンスや基本動作などを体験し、鉄道の仕事の本質を知っていただきます。								
到達目標	鉄道会社に就職するために、鉄道会社に必要とされるような人材とはどんな人なのかを理解し、体現する。								
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:							
教科書 教材	プリント よくわかる最新鉄道の技	プリント よくわかる最新鉄道の技術と仕組み							
授業計画	【駅の改札業務】 乗車券の種類とその精算 乗車券の精算実務 お客さまへの案内業務 首都圏の鉄道路線につい 【駅と乗務員の連携】 乗務員と駅掛員との連携 乗務員と駅掛員との連携 乗務員と駅掛員との連携 、運転取扱実施基準の理 運転取扱実施基準を読め 【鉄道の基礎を学ぶ】 鉄道の技術と仕組み	いて 事の違い <b></b>							
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記記	- は験の合計で 100	0 点とし、	授業参加	意欲を平常点	点として評価す	-る。		
成績評価 基準	A: 評価試験 90 点以上、 B: 評価試験 70 点以上、 C: 評価試験 50 点以上、 D: 評価試験 50 点未満、	出席率 70%以 出席率 60%以	上、平常 上、平常	点良 点可					

#### 学生へのメッセージ

鉄道で働くこととはどういうことなのか、鉄道会社に入るためにはどんな考え方・イメージを持てばよいのかをしっかりと理解し、 鉄道会社への就職を目指しましょう!

科目名	鉄道イベントプロモーシ	ョンΙ・Π			科目区	分	専門科目			
対象	鉄道科鉄道・交通サービ				授業形		演習			
実施期	2年 前期・後期	単位	数	前期 : 2単位 後期 : 2単位	時間	数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間			
	響丈									
担当	実務経験 :   有 ・ 無   鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。									
授業概要	各鉄道会社では、自分の会社を利用していただくための様々な鉄道イベントを企画し、行っている。 各イベントを研究し、自分たちで鉄道イベントを考え、鉄道会社や旅行会社へイベントを提案する。 必要な知識の習得とコミュニケーション能力・経営の視点を学ぶ。									
到達目標	プレゼンテーション能力を身につける。 各会社さまと協力し、実際にイベントを開催する。									
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:								
教科書 教材	なし									
授業計画	【鉄道会社が行う様々な 鉄道会社が行う様々な その中で対外的な経済 【実際のイベントに参加す 各グループを作り、自分 【イベントを研究・企画す グループごとに分かれ、 【イベントの提案準備・発 自分たちでイベント企 【イベントを開催する】 鉄道会社、イベント会社。	イベントを知り、その効果や集客についする。】 たちで参加したいる。】 プレゼンテーション 表】 を作成し、プレゼン	の効果ハイベンバークに向いて	を考える。 ぶ。 〜や興味のある鉄道き ナて様々なイベントを 帯を行う。	会社の企画に参加	旧して	:<る。			
成績評価 方法	授業内でのプレゼンテー	ーションの内容や、『	取り組み	みを点数化し成績評	西する。					
成績評価 基準	A:授業理解度90%以上 B:授業理解度70%以上 C:授業理解度40%以上 D:授業理解度40%未清	:、出席率 70%以上 :、出席率 50%以上	·、平常 ·、平常	点良好 点 <del>普</del> 通						

## 学生へのメッセージ

この授業はひとりひとりのアイデアと、チームワークを必要とします。ひとりひとりが手抜きをせず、チームで協力して取り組みましょう。

			シラバス(技	老未可四/					
科目名	ステーションエクササイ	′ズ I • II			科目区分	専門科目			
対象	鉄道科鉄道・交通サー	ビスコース			授業形式	演習			
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期:2 単位 後期:2 単位	時間数	前期:30時間 後期:30時間			
	北原大輔								
担当	実務経験:有・無	スポーツ	インストラクタ	ーとして実務経験あ	り。				
授業概要	仕事で最低限必要な体力を身に着ける。健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。								
到達目標		健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)							
検定資 格	なし・ 必修・ 任意	名称:							
教科書 教材	なし、必要によりプリント用意								
授業計画	【健康と体力】【筋トレ I 「健康」、体力」、「健康」、体力」、「健康筋トレ、器具の使い方がスケットボールなど(ウォーキング、ランニン【ストレッチングの意義を持久カトレーニングの意情を表しまり負荷を上げて、傷害の理解と予防形態計測、筋力測定、	Eと体力の や効けで が対けで が対けで かがける かがける かがける かがける かがける かがける かがける かがける かがける かがける かがける かがける かがける かいがいる はいまままする がいがいる がいがいる がいる はいままままする はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	関係」についる いいて いいの理解 いいかり方と効所 ング 、 に持続性トレー 測定と評価 に で図る	で学ぶ 解と実践) 用 ーニング)	ランニング】				
成 績 評 価 方法	※平常点は、授業への	参加度や	授業態度など	を加味して 20 点満	点とし、上記評価点	数に組み込まれる。			
成績評 価 基準	B:授業内期末試験	50 点以上 30 点以上	、出席率 609 、出席率 609	6以上、平常点 15 点 6以上、平常点 10 点 6以上、平常点 5 点 6未満、平常点 5 点	点以上 良 以上 可				

#### 学生へのメッセージ

科目名	就職対策Ⅱ			科目区分	専門科目			
対象	鉄道科鉄道交通サービス			授業形式	講義			
実施期	2年 前期	単位数	前期:1単位	時間数	前期 : 30 時間			
	中山 健也							
担当	実務経験 : 有・無							
授業概要	業界を目指す皆さんにとって、就職試験は大きな挑戦になります。 業界を受験する際に実際に行われている試験を行うことにより受験の準備をし、受験の流れや実際に行われてい る試験を体験することでより就職活動への意欲を高め、試験への準備を整えましょう。							
到達目標	会社の採用試験がどのようなものか理解をし、自身の就職活動に生かす。 各会社からの求人が来た時に、すぐに活動を始めることが出来るようにする。							
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:						
教科書 教材	MY CAREER NOTE皿(ベネッセ iーキャリア)							
授業計画	【業界の入社試験につい会社の試験がどのような筆記試験・解説志望動機・自己 PR 作成 【面接練習】 グループ、個人問わず100%伝えられるよう取 【校内企業説明会】 企業の方から直接現場また WEB や資料だけで 【企業研究】 個人毎に受験する企業	はものか理解をする 対 採用試験で避けて通れ り組む。 での業務内容や、一日 ごは判断しきれない細か	の流れを聞き、理解度を い部分も質疑応答にて	を高める。				
成績評価 方法	小テストの点数(授業理解	<b>賀度)と出席率、平常点</b> (	のすべてにおいて基準を	を満たすものを評価	とする。			
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上 B:授業理解度 60%以上 C:授業理解度 40%以上 D:授業理解度 40%未満	、出席率 80%以上、平 、出席率 60%以上、平	常点良 常点可					

### 学生へのメッセージ

希望業界での内定することで、自分の将来の生活ビジョンをより明確に描けるよう取り組んでいきますので、 他人事ではなく、自分事で一緒に授業をすすめていきましょう!

科目名	時刻表実務Ⅲ					.目区分	専門科目			
対象	鉄道科鉄道・交通サービ	スコース				業形式	講義			
実施期	2年 前期		単位数	前期:1単位		寺間数	前期: 30 時間			
	菅 亮介									
担当	実務経験:有・無	実務経験 : 有・無 鉄道業界にて駅務、車掌として実務経験あり。								
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の使用方法を習得していきます。1 年次に学び磨いてきた時刻表の技術を、より実践的に現場で通用するレベルへ向けてさらに推し進めていきます。IVではJR以外の部分(私鉄)にも触れていきます。									
到達目標	業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。									
検定資格	なし・必修・任意	名称:								
教科 <del>書</del> 教材	JR時刻表(交通新聞社	JR時刻表(交通新聞社)								
授業計画	【今年度の改正点】 路線、列車の改廃につい 運賃料金制度の改定に 「時刻表の実践的な技術 総合演習問題によ継事・区間外乗車、乗乗車券、 ・日間が乗車、乗車事がは ・日間が乗車がは、 ・日間が乗車がは、 ・日間がある。 ・新幹線とを主に、 ・新幹線とを主に、 ・新幹線とを主に、 ・新幹線とをでは、 ・新幹線とは、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一	つい 習践し、乗 技早快指 の践りいり でいる 学割り でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます	引 実務的技術習行 自由席・グリー: 得】							
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づ	づく。								
成績評価 基準	A:授業理解度 90%以上 B:授業理解度 70%以上 C:授業理解度 40%以上 D:授業理解度 40%未清	-、出席率7 -、出席率6	70%以上、平常 60%以上、平常	常点良 常点可						

#### 学生へのメッセージ

時刻表の使い方を学び、お客さまへ素早く適切な提案ができるようになりましょう。

科目名	国内観光資源Ⅱ				科目区分	専門科目		
対象	鉄道科鉄道交通サービス	スコース			授業形式	講義		
実施期	2年 前期		 単位数	前期:2単位	時間数	前期: 30 時間		
ンパロハリ	松川信也		一一少	11/1/01 : 5 + 12	XXIHILIH	13791 . GO HAITHI		
担当	実務経験:有・無	元旅行添	乗員(国内・海	外)。旅行コンサルティンク	"会社経営。総合旅行	業務取扱管理者。		
授業概要	まず改めて日本国内の主要輸送手段としての「鉄道」と「航空機」についての概略を体系的に学習する。 授業の後半では、地域割りですすめた 1 年次の「国内旅行地理 I・Ⅱ・Ⅲ」の知識を応用し、、 旅行の流れを追いかけながら「旅の楽しさ」を追求しつつ、国内旅行の実務を行う上で必要となる知識を幅広く学 ぶ。							
到達目標	国内の主要輸送手段である「鉄道」と「航空機」の、観光上でのそれぞれの役割・長所・短所を説明できる。 国内観光地理の全国的・横断的な観点での学習を行い、将来仕事の上で役立つ知識を身につけ役立てる。							
検定資格	なし・必修・任意	名称:	日本·旅行地理	里検定(中級)				
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 研 「旅に出たくなる地図・日				入済			
授業計画	1. 日本の主要輸送手段 ①鉄道について ②航空機について 2. 紙上国内旅行を楽しる ①北海道旅行 ②瀬戸内海旅行 ③九州旅行 他 それぞれについて、実際	む	想定した観光気	口識習得を行う。				
成績評価 方法	各パート終了ごとに小テ 試験も実施し、期末試験				の場合はO点扱いとな	るので注意。期末評価		
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、 B:評価試験 60 点以上、 C:評価試験 40 点以上、 D:評価試験 40 点未満、	かつ 出席	5率 60%以上、 5率 60%以上、	かつ 平常点良以上かつ 平常点可以上	<u>:</u>			

#### 学生へのメッセージ

1 年次学んだ「国内旅行地理 I ~Ⅲ」とはやや観点を変え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。 楽しく学習しながら知識を深めましょう。

対象 実施期 担当 授業概要 科科書	前期迄で国内の観光地情報しての幅広い知識を身にでいる。  「・国内の旅を楽しむがでいます。」 「日本の有名駅弁」では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	単位数 添乗員。観光系の専門 最を広く学習したの ではる。 を用材料の楽しして いいのでする。 されがいいでする。 ではいいでする。 ではいいでする。 ではいいでする。 はいいでする。 ではいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。	でと実際の有名駅弁を 日本書紀に出て来る出 なった場所を近辺の 金運、縁結びなど、 い観光地とともに学 、海外も含めた雑学	よ下の 2 本立てで 学習 は雲神話や日本創世 の観光地とともに学 パワースポットと 学習 学的なもの、その他	「旅を楽しむ手段」と 学習 :言われる場所を 地種々の知識を					
実施期 担当 授業概要 到達目標 検定資格 教科書	2年後期 松川信也 実務経験: 旬・無 元 前期迄で国内の観光地情報 しての幅広い知識を身につ I・国内の旅を楽しむが ①「日本の有名駅弁」 ②「日本神話のふるる ③「日本のパワースプロースプロースプロースプロースプロースプロースプロースプロースプロースプロ	単位数 添乗員。観光系の専門 最を広く学習したの ではる。 を用材料の楽しして いいのでする。 されがいいでする。 ではいいでする。 ではいいでする。 ではいいでする。 はいいでする。 ではいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。 はいいでする。	門学校において旅行やので、当授業では、以近ので、当授業では、以近ので、当授業では、以近の本書紀に出て来る出て来る出まった場所を近辺の金運、縁結びなど、第の観光地とともに等に、海外も含めた雑学	時間数 中国家試験対策の教徒 以下の2本立てで は雲神話や日本創世 の観光地とともに学 パワースポットと 学習	後期:30時間 鞭実務経験あり。 「旅を楽しむ手段」と は神話を と習 に言われる場所を し種々の知識を					
担当授業概要到達目標検定資格教科書	松川 信也 実務経験: 旬・無 元 前期迄で国内の観光地情報 しての幅広い知識を身にで I・国内の旅を楽しむが ①「日本の有名駅弁」 ②「日本神話のふるで ③「日本のパワースで 工・重要輸送手段である。 拡充する 上記3つの応用地理テーで 内旅を楽しむ手段を身にで	添乗員。観光系の専門 服を広く学習したの つける。 芯用材料として   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	門学校において旅行やので、当授業では、以近ので、当授業では、以近ので、当授業では、以近の本書紀に出て来る出て来る出まった場所を近辺の金運、縁結びなど、第の観光地とともに等に、海外も含めた雑学	中国家試験対策の教徒 以下の2本立てで 学習 は雲神話や日本創世 の観光地とともに学 パワースポットと 学習 学的なもの、その他	鞭実務経験あり。 「旅を楽しむ手段」と せ神話を 学習 ・言われる場所を  地種々の知識を					
担当 授業概要 到達目標 検定資格 教科書	実務経験: 旬・無 元流 前期迄で国内の観光地情報しての幅広い知識を身には「日本の有名駅弁」②「日本神話のふるる。③「日本のパワースを選・重要輸送手段である。拡充する	報を広く学習したの つける。 芯用材料として   ・・・・駅弁の楽しみ方 さと」・・・古事記・・と ポット」・・・勝負運、 その新負運、 その新負運、 そのが そのが そのが そのが そのが そのが そのが そのが	で、当授業では、以 で、当授業では、以 なき実際の有名駅弁を は本書紀に出て来る出 なった場所を近辺の 金運、縁結びなど、 なの観光地とともに等 、海外も含めた雑学	よ下の 2 本立てで 学習 は雲神話や日本創世 の観光地とともに学 パワースポットと 学習 学的なもの、その他	「旅を楽しむ手段」と 学習 :言われる場所を 地種々の知識を					
授業概要 到達目標 検定資格 教科書	前期迄で国内の観光地情報しての幅広い知識を身にない I・国内の旅を楽しむが ①「日本の有名駅弁」 ②「日本神話のふるる。 ③「日本のパワースを ・重要輸送手段である。 拡充する 上記3つの応用地理テースを 内旅を楽しむ手段を身になった。	報を広く学習したの つける。 芯用材料として   ・・・・駅弁の楽しみ方 さと」・・・古事記・・と ポット」・・・勝負運、 その新負運、 その新負運、 そのが そのが そのが そのが そのが そのが そのが そのが	で、当授業では、以 で、当授業では、以 なき実際の有名駅弁を は本書紀に出て来る出 なった場所を近辺の 金運、縁結びなど、 なの観光地とともに等 、海外も含めた雑学	よ下の 2 本立てで 学習 は雲神話や日本創世 の観光地とともに学 パワースポットと 学習 学的なもの、その他	「旅を楽しむ手段」と 学習 :言われる場所を 地種々の知識を					
授業概要 到達目標 検定資格 教科書	しての幅広い知識を身にな I・国内の旅を楽しむ。 ①「日本の有名駅弁」 ②「日本神話のふるる。 ③「日本のパワースを ・重要輸送手段である。 拡充する 上記3つの応用地理テースを楽しむ手段を身になる。	つける。  応用材料として   …駅弁の楽しみ方きと」…古事記・日 その舞台と ポット」…勝負運、 その近隣 る「航空」について	でと実際の有名駅弁を 日本書紀に出て来る出 なった場所を近辺の 金運、縁結びなど、 い観光地とともに学 、海外も含めた雑学	を学習 出雲神話や日本創世 D観光地とともに学 パワースポットと 学習 学的なもの、その他	せ神話を 空習 :言われる場所を b種々の知識を					
対達日標 検定資格 教科書	内旅を楽しむ手段を身にて			- 7 ポット)の主た	7 中央 + 四年   -					
教科書	なし		上記3つの応用地理テーマ(駅弁・日本神話のふるさと・パワースポット)の主たる内容を理解し、国内旅を楽しむ手段を身につける。また主要輸送手段である「航空」に関して、幅広い知識を身につける。							
77/17	なし(プリント配布)									
授業計画	<ul> <li>I. 日本の有名駅弁         <ul> <li>・実際の有名駅弁をDVDなどの映像を使って学習。</li> <li>・その駅弁の販売されている地域の特性や文化なども学習。</li> </ul> </li> <li>II. 日本神話のふるさと         <ul> <li>・古事記の「日本創世」~「ヤマトタケル」までのストーリーを理解。</li> <li>「マンガ古事記」やDVDを利用する。</li> <li>・それらの舞台となっている場所を把握し、結果そこが観光地となった所以や、関連観光地の知識を習得する。</li> </ul> </li> <li>III. 日本のパワースポット         <ul> <li>・俗にいう「パワースポット」を「武運」「金運」「縁結び」の観点より整理。</li> <li>・それらの具体的場所を把握し、併せて周辺観光地も学習。</li> </ul> </li> <li>IV. 観光上の重要輸送手段「航空」に関する、雑学的なものも含めた種々の知識習得。</li> </ul>									
	各パート終了ごとに小テスト も実施し、期末試験、出席率			場合は0点扱いなの	で注意。期末評価試験					
成績評価 基準	A:評価試験80点以上、かつ 出席率80%以上、かつ 平常点優 B:評価試験60点以上、かつ 出席率60%以上、かつ 平常点良以上 C:評価試験40点以上、かつ 出席率60%以上、かつ 平常点可以上 D:評価試験40点未満、または 出席率60%未満、または 平常点不可									

#### 学生へのメッセージ

2年前期迄の個々の観光知識習得、とは観点を変え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

科目名	サービス接遇Ⅱ	科目区分	専門科目						
対象	鉄道科鉄道・交通サービ	スコース		授業形式	演習				
実施期	2年 前期	単位数	前期:1単位	時間数	前期 : 15 時間				
	担当講師								
担当	実務経験 : 有・無 エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。								
授業概要	1 年次に学習した内容を、知識や情報としてではなく実践的に社会で使えるようにしていきます。 接客やサービス業に関するテーマについて、クラス全体またはグループに分かれてディスカッションやディベート をして、その結果を発表し合います。 他人の意見を感じ良く聴き、自分の意見を分かり易く話す訓練を繰り返すことで、あらゆる形態のサービス接遇に 欠かせない総合的なコミュニケーション力を身に付けることができます。								
到達目標	●「サービスマインド」と「サービススキル」の相違点を理解した上で、実践的な接客スキルを身につける ●アサーティブな接客に欠かせない、話す力(語彙力・表現力・説明力)と聴く力(理解力・傾聴力)を身につける								
検定資格	なし・必修・任意	名称:							
教科書 教材	適宜プリント等を配布								
授業計画	●1年次の復習(グループワークから「学び」と「気づき」) メラビアンの法則を参照しながら、グループメンバーの良かった点と自分自身の反省点を具体的にあげる ①視覚情報(表情・視線・ジェスチャー・姿勢や座り方など) ②聴覚情報(声のトーンや大きさ・話すスピード・など) ③内容(言葉遣い・情報やデータ・説明の仕方や分かりやすさなど)  ●グループディスカッション/ディベート ①旅行や旅客に関するテーマのディスカッション/ディベートと発表 ②今日の MVP(話し手としての視覚情報・聴覚情報・話した内容 または聴き手として) ②講師から、印象的な言語情報や非言語情報に関するフィードバック								
成績評価 方法	評価試験·課題·出席状	兄・平常点の総合評価。	とする						
成績評価 基準	A: 評価試験 90%以上、 B: 評価試験 80%以上、 C: 評価試験 70%以上、 D: 評価試験 70%未満、	出席率 80%以上、 出席率 70%以上、	授業参加意欲·演習貢献度 授業参加意欲·演習貢献度 授業参加意欲·演習貢献度 授業参加意欲·演習貢献度						

			2 20 000					
科目名	SPT I · II				科目区分	専門科目		
対象	鉄道科鉄道・交通サービ	スコース			授業形式	演習		
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期: 2 単位 後期: 2 単位	時間数	前期: 30 時間 後期: 30 時間		
	中山 健也				·			
担当	実務経験: 有・無							
授業概要	昨今の鉄道業界は、ただ「電車に乗る」だけでなくなってきています。駅の先の観光地や目的を考えながら 振行企画を考える授業(Station for Passenger/Tourism)で鉄道科ならではの新しい旅行企画を作り、グループや 個人で発表し実際に旅行してみましょう。きっと新しい発見がありますよ。							
到達目標	グループワークを基本として、商品としての「旅行」を作成することにより基礎を学びます。 また人前で自分たちの企画を発表することにより自主性や相手の立場に立った行動(お客様目線)を理解し、業界で働く上での基礎とします。							
検定資格	なし・必修・任意	名称:						
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する							
授業計画	【企画造成】 ・プランを作成する企画簡単なプレゼンテーシ その中から全体で良か 【マイクロツーリズムの配・地元「千葉」を中心とする 【新たな観光列車の検討・JR や私鉄各社の昨今の	ョンの仕方 いった企画 習得】 る鉄道網を	を学びます。 に対して実際に ・再度学習し直に	-実施まで行います。 ン、その上で鉄道会	吐と地元の繋がりを学	స్.		
成績評価 方法	授業への取り組み及び	確認事項(打	受業理解度)と	出席率、平常点すべ	てにおいて基準を満た	- すものを評価とする。		
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上 B:授業理解度 60%以上 C:授業理解度 40%以上 D:授業理解度 40%未清	:、出席率 8 :、出席率 6	80%以上、平常 60%以上、平常	点良 点可				

### 学生へのメッセージ

科目名	パソコンスキルⅡ			科目区分	専門科目			
対象	<u></u>			授業形式	演習			
実施期	2年前期		前期:1単位	時間数	前期:30時間			
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	長谷川 慶太		10000 : 1 —	- Milling	11/1/1 . 00 1/1/1/1			
担当	実務経験 : 有・無							
授業概要	どこの企業で働くにしても PC	が必要不可欠な時	代になったので、必要:	最低限の使用方法を	学びます。			
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、文字入力に対して不自由なくブラインドタッチが行えるレベルを目指す。 日本語ワープロ検定3級程度の能力(10分の入力時間に対して400文字程度)							
検定資格	なし・必修・任意 名	称:日本語ワープロ	□検定 □検定					
教科書 教材	30 時間アカデミック情報リテラ	ジン一Office2016(実	教出版)					
授業計画	【タイピング】 ・ホームボジションについて ・ショートカットキーについて 【メール】 ・送受信について ・ファイルを添付して送信する ・自動返信の設定について 【Office について】 ・word・excel・power point、そ 【Power Point の基本操作に・効果的な資料の作り方 ・アニメーションについて ・画像と動画の埋め込み方	れぞれの特徴と基	本について					
成績評価 方法	授業内で提示される課題の提	出と発表、テスト期	間のテストを総合して	判断します。				
成績評価 基準	A:授業理解度80%以上、出版B:授業理解度60%以上、出版C:授業理解度40%以上、出版D:授業理解度40%未満、出版	席率 70%以上、平 席率 60%以上、平	常点:良 常点:可					

## 学生へのメッセージ

パソコンは仕事をする上で必ず必要になります。効率的に仕事をこなすことができるよう、今しっかりパソコン操作に慣れておきましょう。

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ				科目区分	専門科目				
対象	鉄道科 鉄道科鉄道・交通サービスコース				授業形式	演習				
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間				
	飯塚 佳代									
担当	実務経験: 有・無 手話通訳士									
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。指文字と手話技能検定 6・5 級の単語学習を中心におこなう。また、聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でコミュニケーションがとれるようロールプレイなどを行う。									
到達目標	1年次においては手話権	食定 5 級レ <del>・</del>	ベルを目指す。							
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:	手話技能検定	5 級						
教科書教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級(日本能率協会マネジメントセンター)									
授業計画	【日常生活で必要な基本を学習 I 】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。 【日常生活で必要な基本を学習 II 】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・接客手話などを学習する。 【日常生活で必要な基本を学習Ⅲ】 日常会話や接客手話を学習する。また検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・聴覚障害者数・身体障害者手帳(身体障害者等級)・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強みと弱み・ろう文化・聴覚障害者の余暇活動など									
成績評価 方法	授業内におこなう実技記	(験と期末記	式験、出席率、	受業態度を総合的に認	平価します。					
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、 B:評価試験 60 点以上、 C:評価試験 40 点以上、 D:評価試験 40 点未満、	出席率 70 出席率 60	%以上、平常, %以上、平常,	点良 点可						

#### 学生へのメッセージ

科目名	中国語Ⅰ·Ⅱ			科目区分	専門科目			
対象	鉄道科鉄道・交通サーヒ	: :スコース		授業形式	講義			
実施期	2年 前期、後期	単位数	前期: 2 単位 後期: 2 単位	時間数	前期:30 時間 後期:30 時間			
	張 翼飛		•	•				
担当	実務経験:有・無							
授業概要	この授業ははじめて中国語を学習する学生を対象とする、発音の習得を重視しつつ、簡単な言葉や表現を身につける、初歩的な中国語でコミュニケーションを取れることを目指しています。							
到達目標	基本的な会話を身に付け	ナ、鉄道業界の現場で想	定される状況に応じた	対応ができるレベル	を目標とします。			
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:						
教科書 教材		)初歩≫ 高橋書店	後期 プリントを配布					
授業計画	前期: 【中国語の概要】 基本いと別れの概要】 出会いとお詫び方 と引きが高い方 と対応でする。 を対応のでは、 を対応をする。 を対応にいた は対応にいた は対にはいた はが、はいた はいた はいた はいた はいた はいた はいた はいた はいた はいた	案内 中国語センテンス 中国語センテンス センテンス 電話センテンス						
成績評価 方法	授業内にてテストを実施 ※業界人として相応しく 試験結果、平常点、出席	ない身嗜みの者は、平常						
成績評価 基準	A:授業内期末試験 90%以上、出席率 80%以上、平常点良好 B:授業内期末試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点良好 C:授業内期末試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点普通 D:授業内期末試験 59%以下、出席率 60%未満、平常点不良							

### 学生へのメッセージ

今後増加するインバウンド需要に合わせ、鉄道会社では中国語で接客に力を入れています。駅スタッフ、車掌等の鉄道業界への就職後に使用する機会も多いと思いますので一緒に頑張りましょう。

科目名	鉄道業界研究				科目区分	専門科目		
対象	鉄道科鉄道・交通サート	<u> </u>			授業形式	講義		
実施期	2年前期		単位数	前期1単位	時間数	前期 : 15 時間		
J\101741	菅 亮介		<b>+L</b> ×	193941 :	- 11-120	114741 : 10 14111		
担当	実務経験: 有・無 鉄道業界にて駅務、車掌として実務経験あり。							
授業概要	・各事故を題材に研究し、それがなぜ起きたのかやどうすべきだったのかを、自分の今の立場や将来なり得る立場を想定し、様々な視点で物事を考え、将来の現場業務に生かす。 また、グループワークを通じ、「相手に伝える」という勉強にもなる。							
到達目標	今回学ぶ各事故につい	ての内容把持	屋、調べた内	容を発表する。				
検定資格	なし・必修・任意	名称:						
教科書 教材	別途、プリントを配布する。							
授業計画	【題材】 題材①: 脱線事故ケース① 題材②: 脱線事故ケース② 題材③: 衝突事故ケース③  【上記題材について】 ① 映像・動画等で主な概要等を知る② 概要等について個人でまとめる③ 各自のまとめを用い、ディスカッションしながら模造紙に壁新聞形式でまとめる④ 各班の発表  【具体的に】 ・誰が原因で事故が発生したのか・どうすれば防ぐことができたのか・自分が当事者だったらどうしていたかなど、日頃はあまり考えない所をグループワークを通じ、学んでいく。							
成績評価 方法	授業内でのプレゼンテ-	ーションの内は	容や、取り組	みを点数化し成績評	価する。			
成績評価 基準	A:授業理解度 90%以_ B:授業理解度 70%以_ C:授業理解度 40%以_ D:授業理解度 40%未	上、出席率 70 上、出席率 60	)%以上、平常 )%以上、平常	常点良 常点可				

#### 学生へのメッセージ

いつも当たり前に利用している鉄道が、どのようにして出来て来たのかを学ぶとともに、鉄道の仕事のシビアさを知り、それを人に伝えられるようになりましょう。

科目名	鉄道接客演習				科目図	☑分	専門科目	
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース				授業刑		演習	
実施期	2年後期		単位数	後期 : 1単位	時間		後期 : 30 時間	
=	響丈				1	-		
担当	実務経験: 有・無 鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。							
授業概要	今までの学生生活と社会人生活には、責任の所在や規則の順守など大きな違いがあります。 この授業では、社会に出るための心構えやマインドを学びます。							
到達目標	社会に出る前に心構える	とし、社会に	出てからギャ	ップを感じないよう	になる。			
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:						
教科書 教材	プリントを配布							
授業計画	【社会に出るための心構え】 ・自分のとった行動による責任の重みを知る。 【働く上でのマナーとルール】 ・みだしなみ ・挨拶 ・接客態度 ・ホーム歩行時の注意点 ・電話応対の注意点 ・電話応対の注意点 ・規則の順守 ・時がい者の対応 ・仲間とのコミュニケーション ・勤務を考慮した日常生活							
成績評価 方法	期末に評価試験を行う。	出席状況、	授業参加意欲	は平常点として評	価し、期末試験の網	結果と	合算して評価する。	
成績評価 基準	A:評価試験 90 点以上、 B:評価試験 70 点以上、 C:評価試験 40 点以上、 D:評価試験 40 点未満、	出席率 70 出席率 60	%以上、平常, %以上、平常,	点良 点可				

#### 学生へのメッセージ

社会に出てから苦労することの無いように、マインドを学んでいきましょう。

科目名	旅と鉄道			科目区分	専門科目			
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース				講義			
実施期	2年後期	単位数	後期:1単位	授業形式 時間数	後期 : 15 時間			
> 10/2/41</th <th>松川信也</th> <th></th> <th>  N/// T-L</th> <th>- aleiso</th> <th>Market 1 - 2 milled</th>	松川信也		N/// T-L	- aleiso	Market 1 - 2 milled			
担当	実務経験:有・無 元旅行添乗員(国内・海外)。旅行コンサルティング会社経営。総合旅行業務取扱管理者。							
授業概要	「鉄道を使った旅」をさまざまな角度より考察し、どう楽しむか材料を研究する。 実際に使用できる知識や今後大いに役立つ内容で、鉄道を別視点からも楽しんでもらいます。 授業の後半では、今大ブームの「観光列車」について各自が気に入ったもの1つを選び、その魅力をプレゼンテーションする。							
到達目標	鉄道を利用した旅の楽し	<i>、み方</i> を身につけ、そのミ	<b>F段を説明できる</b> 。					
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:						
教科書教材	なし							
授業計画	【その他旅を楽しむ鉄道 ・難読駅名 ・珍しい駅 ・寝台特急 【観光列車私の推し】	旅】 釘に見る秘境駅 じめとする廃線跡の活用		るプレゼンテーション	ンを行う。			
成績評価 方法	期末試験(評価試験)50	%、観光列車プレゼンテー	ーション 30%、平常点 10	0%で評価する。				
成績評価 基準	C:評価試験 40 点以上、	かつ 出席率80%以上 かつ 出席率60%以上 かつ 出席率60%以上 または 出席率60%未	、かつ 平常点良以上、かつ 平常点可以上					

#### 学生へのメッセージ

鉄道科の皆さんにとって、最後は「鉄道旅を楽しむこと」が究極の目標ですよね。人それぞれ楽しみ方がありますが、さまざまな手法を紹介するので、楽しみ方を増やしてください。「観光列車」については、ご自身のプレゼンテーション、クラスメートのプレゼンテーションを通してしっかり最新情報を得てください。。

					1			
科目名	社会人準備講座			科目区分	専門科目			
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース	T	T	授業形式	演習			
実施期	2年後期	単位数	後期:1単位	時間数	後期: 30 時間			
	立石 智之							
担当	実務経験: 有・無							
授業概要	これから社会人として活躍するために、身につけておかなければならない最低限の常識やマナー、 言葉遣いについて学びます。 社会に出て恥ずかしい思いをしないよう事前準備をしっかり行いましょう。							
到達目標	社会人として求められる最低限	の常識、マナ	-一や言葉遣いを実践	浅できることを目標	とする			
検定資格	なし・必修・任意 名称:							
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する							
授業計画	【社会人としての心構え 基本マナー】 ・社会人と学生の違いを考える ・新卒で働く意義とは ・あいさつ 仕事に対する姿勢 ・周囲とのコミュニケーション SNS サービスの怖さ  【社会人としての常識】 ・出社から退社まで ・身だしなみ ・電話の対応(かけ方、出方、取りつぎ方、切り方)  【社会人としての言葉遣い、社交文章】 ・丁寧語、尊敬語、謙譲語の使い方 ・ビジネス文書の書き方、ビジネスEメールの書き方、会社で使うビジネス用語  【お金についての基本情報】 ・お金を稼ぐ、使う、貯める ・税金について、円/ドル相場と株のしくみ  【福利厚生について】 ・社会保険と制度、持ち株制度など							
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)とは	出席率、平常点		 準を満たすものを評	 価とする。			
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B:授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C:授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D:授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可							

#### 学生へのメッセージ